

The background of the entire page is a high-speed photograph of water splashing, creating numerous bubbles and droplets against a light blue background. The water is in motion, with some droplets captured mid-air, creating a sense of freshness and purity.

SEKISUI

積水化学グループ中間報告書

2013

(2012年4月1日~2012年9月30日)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。積水化学グループの2012年度上半期の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

2012年度上半期は、欧州債務危機の深刻化による世界景気の減速や為替の影響を受けましたが、住宅や水インフラ関連製品などの国内基盤事業が堅調に推移したことや海外連結子会社の決算期を変更したことにより、売上高は前年同期比9.5%増の5,160億円、営業利益は前年同期比1.3%増の250億円となりました。

環境・ライフラインカンパニーと高機能プラスチックカンパニーは、欧州の景気停滞の影響を受け、売上高・営業利益は当初計画を下回ったものの、住宅カンパニーはセキスイハイムの次世代住宅「進・スマートハイム」の積極的な販売や生販一体運営による競争力強化により、大幅な増益となりました。これらの結果、上半期の営業利益はカンパニー制導入以降の最高益を更新しました。

下半期につきましても、世界経済の景気減速などの要因により厳しい事業環境が続くと思われませんが、国内基盤事業はさらに強化するとともにグローバル戦略事業は成長分野への経営資源の集中と高機能製品の販売を進め、通期の売上高は前年度の9,650億円を上回る1兆300億円、営業利益は前年度の546億円を上回る620億円を達成したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも厚いご支援を、引き続き、賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

代表取締役社長

根岸 修史

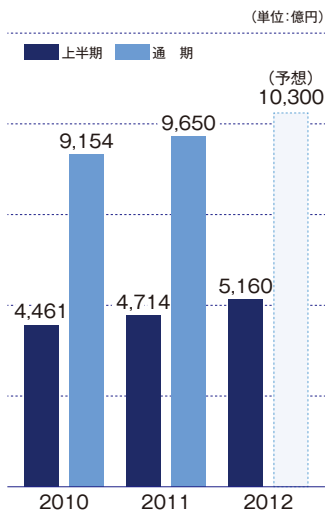


積水化学グループ上半期決算のご報告

売上高

5,160億円
+9.5%

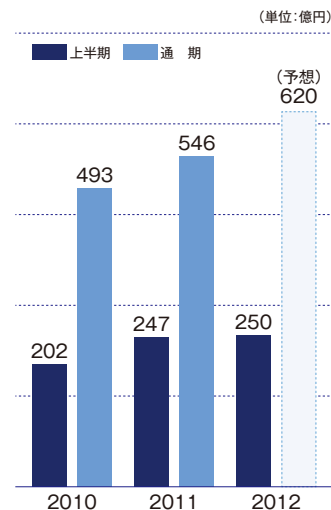
住宅カンパニーの売上高が増加したことや、海外連結子会社の決算期を変更したことにより、9.5%増加しました。



営業利益

250億円
+1.3%

欧州の景気減速や為替の影響を受けたものの、住宅カンパニーの営業利益が大幅に増加したことにより、前年同期を上回る250億円となりました。

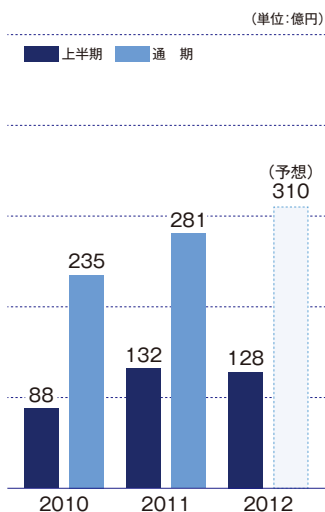


- 2 -

純利益

128億円
-3.7%

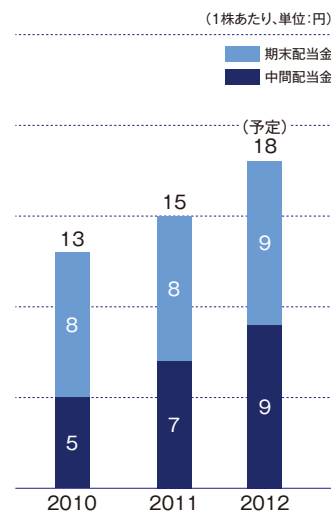
営業外損失が増加したことや投資有価証券評価損を計上したことにより、前年同期を下回りました。



中間配当金

9円

2012年10月30日開催の取締役会において、前年度の中間配当金より2円増額となる1株につき9円とし、支払開始日を12月3日とさせていただくことを決議しました。



- 3 -

カンパニー別売上高・営業利益

売上高

(単位:億円)

	2012年度 上半期	2011年度 上半期	前年同期比 増減
住宅カンパニー	2,317	2,193	+123
環境・ライフラインカンパニー	999	936	+62
高機能プラスチックカンパニー	1,776	1,503	+272
その他	189	200	-10
消去又は全社	-123	-121	-2
合計	5,160	4,714	+445

営業利益

(単位:億円)

	2012年度 上半期	2011年度 上半期	前年同期比 増減
住宅カンパニー	168	143	+24
環境・ライフラインカンパニー	-19	-5	-14
高機能プラスチックカンパニー	111	108	+2
その他	-8	-3	-5
消去又は全社	-1	3	-4
合計	250	247	+3

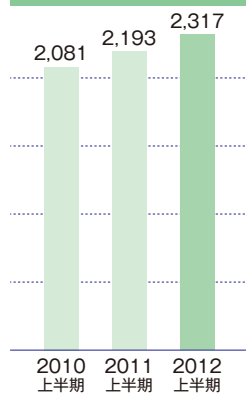
- 4 -

Housing Company

住宅カンパニー

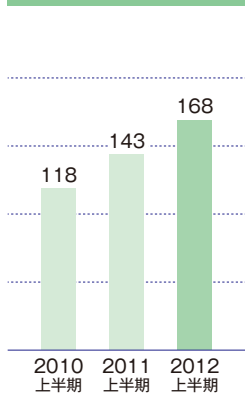
(単位:億円)

売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移



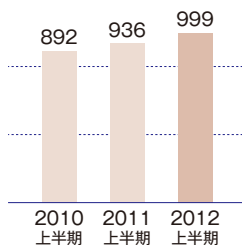
- 生販一体運営により競争力を強化したことや「進・スマートハイム」を訴求したことなどにより、売上高は前年同期比5.6%増の2,317億円、営業利益は前年同期比17.0%増の168億円となりました。
- 住宅事業は、次世代住宅「進・スマートハイム」を軸に拡販を図り、受注棟数は前年同期なみの水準となりました。
- 住環境事業は、太陽光発電システムやキッチン・バスコアなど重点商材を拡販したに加え、営業人員の増強と早期戦力化を進めた結果、売上高・営業利益ともに順調に推移しました。

- 5 -

環境・ライフラインカンパニー

(単位: 億円)

売上高の推移



(単位: 億円)

営業利益の推移



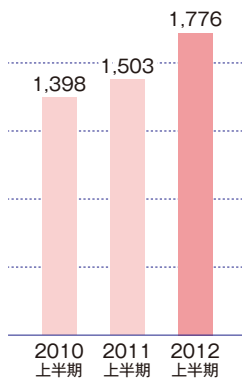
- 売上高は前年同期比6.6%増の999億円となりましたが、前年の震災復旧需要の反動減や欧州の景気減速の影響を受け、営業損失は19億円となりました。
- 管材を中心とする基盤事業の収益力を強化するため、本年7月、三菱樹脂株式会社の管材事業を譲受ける包括合意書を締結しました。
- 海外事業は、米国・中国では一元化体制の構築による経営効率化が順調に進捗し、米国のプラスチックシート事業が好調に推移しました。一方、欧州の景気後退の影響により、管路更生事業は苦戦しました。

High Performance Plastics Company

高性能プラスチックカンパニー

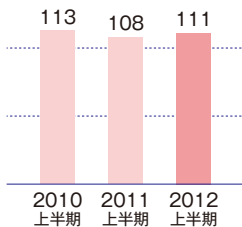
(単位: 億円)

売上高の推移



(単位: 億円)

営業利益の推移



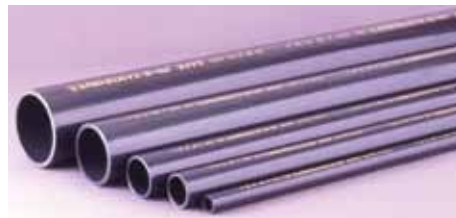
- 欧州の景気減速や為替の影響を受けたものの、戦略事業分野が前年同期なみの販売数量を確保したことにより、売上高は前年同期比18.1%増の1,776億円、営業利益は前年同期比2.8%増の111億円となりました。
- 車輦分野は、米国の堅調な需要やアジアや中南米など新興国の需要増により、合わせガラス用中間膜が販売数量を伸ばし、売上高は増加しました。
- IT分野は、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末向けの液晶ケミカル製品や両面テープ、フォーム、ITOフィルム製品が販売数量を伸ばしました。
- メディカル分野は、北米事業の再編を完了しました。検査薬事業の安定した需要を背景に、売上高は前年同期なみとなりました。

大容量蓄電池を搭載した「進・スマートハイム」の受注が1,000棟を突破



本年4月に発売した定置型大容量リチウムイオン蓄電池を搭載した「進・スマートハイム」の受注棟数が9月に1,000棟を突破しました。大容量太陽光発電システム+スマートハイムナビ+定置型大容量リチウムイオン蓄電池のセットが電力に対するお客様のさまざまなニーズにお応えできていることが評価されました。

三菱樹脂の管材事業を譲受け



環境・ライフラインカンパニーでは、国内の基盤事業を強化するため、本年7月に三菱樹脂株式会社の管材事業譲受けについて同社と包括合意書を締結しました。その後、協議を進め、本年12月1日を譲受け実施予定日とすることとしました。

- 8 -

メディカル事業の海外展開を加速



メディカル事業は、検査薬事業の欧米展開を積極的に推進しています。日本国内で納入台数を伸ばしている血液凝固分析装置「コアプレスタ2000」については、欧州にも積極的に展開していく方針であり、本年10月にはドイツでの発売を開始しました。

「世界子どもエコサミット2012」を開催



本年8月、創立65周年記念プログラムとして「世界子どもエコサミット2012」を開催しました。世界の主要事業所の社員の子供たち85名が参加し、7日間にわたり環境学習や異文化交流を行い、子供の立場での取り組み宣言と積水化学グループを含めた大人たちに対する環境提言を行いました。

- 9 -

連結財務データ

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2012年度上半期末	2011年度末
流動資産	398,791	400,322
固定資産	418,856	426,780
資産合計	817,648	827,103

(単位:百万円)

	2012年度上半期末	2011年度末
流動負債	312,277	324,017
固定負債	132,898	139,786
負債合計	445,176	463,803
純資産合計	372,471	363,299
負債純資産合計	817,648	827,103

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2012年度上半期	2011年度上半期
売上高	516,001	471,406
営業利益	25,021	24,702
経常利益	22,540	25,160
純利益	12,809	13,299

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2012年度上半期	2011年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,351	44,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	-11,354	-54,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	-16,077	-3,932

-10-

株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	532,507,285株	22,677名

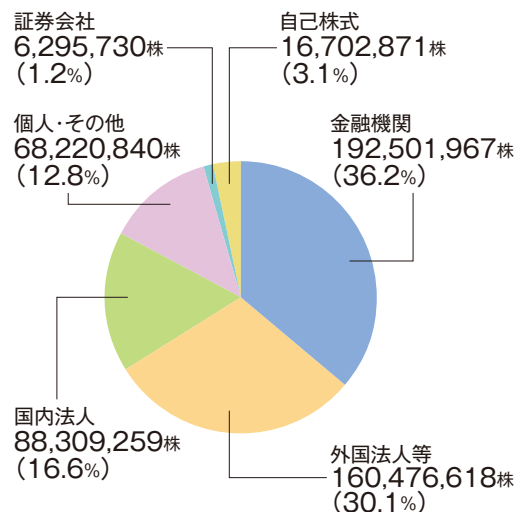
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
旭化成株式会社	31,039	6.01
積水ハウス株式会社	25,592	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,282	4.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,935	4.83
第一生命保険株式会社	19,681	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	16,229	3.14
東京海上日動火災保険株式会社	15,927	3.08
積水化学グループ従業員持株会	11,442	2.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,618	1.47
ジェービー モルガン チェース バンク 385164	7,029	1.36

(注) 1. 当社は、自己株式を16,702,871株保有しておりますが、上記大株主からは除いています。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

-11-

株式の所有者別分布状況



株主メモ

株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いたします。

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の受取方法のご指定等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2012年9月30日現在)

積水化学工業株式会社 (Sekisui Chemical Co.,Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日
資 本 金: 1,000億237万5,657円
本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号
グループ従業員数: 21,774名
ホームページ: <http://www.sekisui.co.jp/>
事業年度: 4月1日から翌年3月31日まで

取締役および監査役 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長	根岸 修史	社外取締役	辻 亨※
取締役	松永 隆善	社外取締役	長島 徹※
取締役	高下 貞二	常勤監査役	篠 秀一
取締役	久保 肇	常勤監査役	辻 清孝
取締役	高見 浩三	社外監査役	國廣 正※
取締役	上ノ山智史	社外監査役	長田 洋※
取締役相談役	大久保尚武	社外監査役	大西 寛文※

(注) ※印の5名は、東京証券取引所ならびに大阪証券取引所の定めに基づく独立役員。

-12-

積水化学グループ2013カレンダーのご案内

株主の皆様を対象に、積水化学グループ2013カレンダーを差しあげます。ご希望の方は、以下の要領にしたがってお申し込みください。

●お申し込み方法

同封いたしましたアンケートはがきに、必要事項をご記入のうえご返信ください。

●締め切り

2012年12月13日(木)到着分をもって締め切りとさせていただきます。

※お届けは12月下旬の予定です。



-13-

積水化学工業株式会社

株主様のお問い合わせはこちら

法務部総務グループ

電話: **06-6365-4119**

商品に関するお問い合わせはお客様相談室へ

(東京)電話: **03-5521-0505**

(大阪)電話: **06-6365-4133**

この報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。

- ①製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト刷版「CTP(Computer to Plate)」を用いています。
- ②印刷工程では、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少なく、生分解性や脱墨性に優れたインキを使用しています。